

チャペル週報

何事にも時があり
天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
(コヘレトの言葉 3 : 1)



2007.11.12 ~ 11.16 No.18
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 11月12日(月) 神 植田 幸子(神4)
経 人間を考える 舟木 讓(宗教主事)
-
- 11月13日(火) 院 出口 尚弘(神M)
神 鎌野 真(M2)
文 田淵 結(宗教主事)
社 共に生きる 大和三重(社会学部准教授)
法 音楽チャペル(1)バロックアンサンブル
経 人間を考える 増永俊一(経済学部教授)
商 則定 隆男(商学部教授)
総 加藤 晃規(総合政策学部教授・学部長)
-
- 11月14日(水) 神 佐藤 聡(メインストリーム協会)
社 音楽チャペル バロックアンサンブル
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 人間を考える 藤田友尚(経済学部教授)
商 岡田 太志(商学部准教授)
理 「読書の秋 もっと聖書を読もう!」松木 真一(宗教主事)
総 本田 盛(総合政策学部教授)
-
- 11月15日(木) 神 渡邊 宣博(M2)
文 嶺重 淑(神学部准教授)
法 } 法学部・経済学部合同音楽チャペル 於: 法学部チャペル
経 } バロックアンサンブル
商 English Chapel Richard Stinson(宣教師)
総 Paul Hays(総合政策学部教授)
-
- 11月16日(金) 神 音楽チャペル ゴスペルクワイア Power Of Voice
文 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 共に生きる 武田 丈(社会学部准教授)
経 舟木 讓(宗教主事)
理 音楽礼拝 理工学部アンサンブル
-
- ランパス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
11月16日(金) 理工学部のために 北村 泰彦
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗教主事室
-

ランバス記念礼拝堂と2分の大きさ

松 見 淳 子

正門を入り門衛さんと挨拶を交わす。青空を見上げると、今日も甲山が見える。時計台は山の少し左より。ランバス記念礼拝堂で右に入り、聖書に記されている植物を一つ二つ観る。カサブランカとオリーブなど。吉岡記念館のベルスクエアを通り、裏の小道をたどり、F号館への道に出る。その2分の間に、私は、ある時からいつも同じイメージを浮かべるようになった。外の世界はしばし姿を消し、静かでのどかな空間が生まれ、時間がゆっくりと流れ、雑念が消えるようになった。毎朝、この道を通ることを楽しみにするようになり、新鮮な気持ちで一日を始められるようになった。

大学で仕事をしていると、時間の経つのがとても速く、すぐに夜になってしまふ。IT時代においては、時間は限りなくその体験の意味を変えて自分に襲ってくるようだ。一日が終わると、朝の小道は暗くもうとっくに眠っている。今日も無事に終わったことを実感し、時にはせせらぎの水音を聞きながら、大学を後にする。

最近、心理学で「マインドフルネス」の臨床研究が盛んになってきた。過去、現在、未来の中に生きている以上、記憶と体験から不安や雑念が生じ、今なすべきことに集中できなくなることがある。もし、あるところで、いつもあるイメージや記憶を想起できれば、そこに行ってこころの安らぎを見つけられるかもしれない。「ゾウの時間 ネズミの時間 サイズの生物学」(本川達雄著)という本では、サイズが違うと、歩幅も機敏さも寿命も異なるが、生態学的には等機能を持つことが、科学的に説明してある。朝の2分と、それから大学にいる夜までの時間にはネズミとゾウの相違があるが、ランバス記念礼拝堂からの朝の一步は、絶対的な大きさを持って私に語りかけてくる。忙しい時でも、頭の中で別の広い世界に飛び、ふとそこで「あそぶ」ことができれば、切迫した時間と意識の流れが変わるように感じられる。一日に何度かこのようにして気持ち切り替えるようにしている。朝のイメージの人に、感謝をこめてこのエッセイを捧げます。

(文学部教授)

今の世界の「人権」を考えるフィルムセッション第5回（2007年度第2回）

テーマ：「収容所」という暴力の現実 - 「キャンプ」の過去 / 記憶 / 現在 -
『絹の繭から - 日系米人国籍離脱の物語』（サツキ・イナ監督作品）を観る

トーカー：田中きく代（文学部）、山本剛郎（社会学部）

ナビゲータ：阿部 潔（社会学部）

とき：11月26日(月)15:15～18:30

ところ：図書館ホール

主催：関西学院大学人権教育研究室（吉岡記念館企画）

概要：第二次世界大戦時に「日系米人」がキャンプに収容されたことは、現在では広く知られている。だが、その過程とその後において、どのような辛苦を人々が味わったのかを、わたしたちはどれほど知っているだろうか。今回のフィルムセッションでは、日系人収容所を題材としたドキュメンタリー・フィルムを見ることを通して、「キャンプ」の過去 / 記憶 / 現在について考える機会を設ける。

お問い合わせ：関西学院大学人権教育研究室

CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会（JOCS）切手部の活動に協力し使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎月第2水曜・第4金曜にチャペルアワーを開催しています。

11/14（水）18:00～18:20 1405教室

【メッセージ】水曜日 樋口 進（宗教センター宗教主事）

金曜日 田淵 結（大学宗教主事）

関西学院会館の日曜礼拝

毎月第二・第四日曜日（午前10時～11時）関西学院会館ベーツチャペルで教職員・学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガルの形式。どなたでも参加出来ますのでどうぞお越しください。

11月25日